

## 2025（令和7）年度 日本地域福祉学会東北部会地域福祉セミナー

### テーマ 「地域福祉実践研究における実践者と研究者との協働」への第一歩

#### 趣旨

「地域福祉」は長年にわたる実践を積み重ねつつ発展してきた。

また、日本地域福祉学会においても、地域福祉研究の特徴として「実践」を大切にし、『地域福祉実践研究』を刊行することで、実践研究の蓄積を図っているところである。

その一方で、実践者からは「日々の実践を研究するにはハードルが高い」、「実践と研究は別である」などの声もきく。

そこで、今回は『「地域福祉実践研究における実践者と研究者との協働」への第一歩』をテーマとし、「実践研究」を通じて、実践者および研究者が協働することの意味や意義について考える場とすることを目的に開催する。

1. **日時** 2026（令和8）年3月7日（土） 13時30分～
2. **会場** 岩手県立大学アイーナキャンパス 第1学習室  
（〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1）
3. **開催日程** 詳細は裏面の【プログラム】を参照
4. **参加方法** ハイブリット（対面とオンライン Zoom による）開催
  - (1) 対面での参加者は直接会場までご来場ください。
  - (2) オンライン（Zoom）の参加者は、開催日の前に Zoom の URL をメールで送信します（なお、申込時に記入されたメールアドレスで送信できない場合の対応は致しかねますので必ずご確認ください）。
5. **お申込み**

別紙申込用紙あるいは Google Form（下記の QR コードから入れます）に必要事項を記入（入力）ください。【**申し込み締切：2026年2月27日（金）**】



6. **主催** 日本地域福祉学会東北部会

【プログラム】

時 間	内 容
13時 30 分	開会／講師紹介
13 時 40 分～ 14 時 10 分	<p><b>第 1 部 「実践研究」の論点整理 (30 分)</b></p> <p>講師:菅野道生氏(淑徳大学総合福祉学部教授)</p> <p>内容:地域福祉の実践において、「実践研究」がなぜ大切なのかを、ご自身の経験を踏まえつつ概説する。それを受けて、シンポジウムにつなぐ。</p>
14 時 20 分～ 16 時 20 分	<p><b>第2部 シンポジウム</b></p> <p>「実践研究での実践者と研究者との協働—実践と研究との結びつき」</p> <p>実践研究を展開している2か所の取り組みを通じて、実践者および研究者が協働することの意味や意義について考える場とする。</p> <p>〈登壇者〉</p> <p>①「らくせいホール協議会設立前後での協働—『主体形成』を意図した地域福祉実践と研究」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践者 志田信也氏(楽聖会理事兼管理者)</li> <li>・研究者 佐藤哲郎(岩手県立大学社会福祉学部 教授)</li> </ul> <p>②「盛岡市社協における地域福祉実践の可視化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践者 佐々木裕美氏(盛岡市社会福祉協議会地域福祉課 副主幹)</li> <li>・研究者 平坂義則氏(岩手県立大学社会福祉学部 准教授)</li> </ul> <p>〈コーディネーター〉</p> <p>菅野道生氏(淑徳大学総合福祉学部教授)</p>
16 時 20 分～	諸連絡
16 時 30 分	閉会

【講師紹介】

菅野 道生 氏 (淑徳大学総合福祉学部教授)

学歴：明治学院大学社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程

職歴：2002年4月から東京ボランティア・市民活動センター（東京都社会福祉協議会）にて相談担当専門員として2010年3月まで従事、その後、東日本国際大学（福島県いわき市）を経て、2012年4月に岩手県立大学社会福祉学部に着任し、県内外の自治体、団体等との協働を展開する。2023年4月に淑徳大学総合福祉学部に着任後も協働を継続している。